

# 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目					評価理由	
基本方針	基本的方向				評価	拡 充	継 続	縮 小	段 階 的 廃 止		廃 止
1 ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成	社会的自立に向けたキャリア形成の支援	1 小学校特色ある学校づくり事業	各学校で、子どもたちが地域の「歴史」「文化」「人」「産業」に目を向けることにより、「ふるさと愛の醸成」を図る。	知・徳・体の調和を生かしながら、児童・生徒に「生きる力」を培うことを目的として、それぞれの学校で特色ある実践事業を展開した。 各学校で、地域教材を活用し、地域に住む人々あるいは自然や歴史的な遺産等に触れる体験を通して、自尊感情や郷土愛の向上を図った。 広く社会で活躍されている地域の専門家、大学教授や一般企業の方などを学校に招聘し、専門的な授業や講演を通して、児童に夢を抱かせた。	現在認識している課題					例年、事業内容が同じになっている学校が多いが、対象学年が異なるため、継続した取り組みにより各校の特色として定着しており有効である。発達段階に応じた体験活動であり、ふるさとの豊かな自然を体感できる有益な事業であるが、授業時数の確保の視点から内容を精選し精査する必要がある。	
		今後の方向、見直し、対応策等					重点事業として、精査しながら今後も事業を継続し、ふるさと教育の充実に繋げる。				
	兵庫型「体験教育の推進」	2 中学校特色ある学校づくり事業	各学校で、子どもたちが地域の「歴史」「文化」「人」「産業」に目を向けることにより、「ふるさと愛の醸成」を図る。	知・徳・体の調和を生かしながら、生徒に「生きる力」を培うことを目的として、それぞれの学校で特色ある実践事業を展開した。 各学校で、地域教材を活用し、地域に住む人々あるいは自然や歴史的な遺産等に触れる体験を通して、自尊感情や郷土愛の向上を図った。 広く社会で活躍されている地域の専門家、大学教授や一般企業の方などを学校に招聘し、専門的な授業や講演を通して、生徒に夢を抱かせた。	現在認識している課題					例年、多くの学校で事業名が同じになっているが、対象学年が異なるため、継続した取り組みにより各校の特色として定着しており有効な体験活動である。ふるさと意識の醸成を図る一助として有益な事業であるが、授業時数の確保の観点から精査する必要がある。	
		今後の方向、見直し、対応策等					重点事業として、精査しながら今後も事業を継続し、ふるさと教育の充実に繋げる。				
	1 ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成	グローバル化に対応した教育の推進	3 わくわくオーケストラ教室事業	芸術文化に親しむ機会の少ない中学生に、学校教育の中で本格的な楽団の演奏に親しむ機会を設け、音楽を愛好する心を育み、豊かな情操や感性を身に付けた人材の育成を図ることを目的とする。	市内中学1年生を対象とし、兵庫県立芸術文化センターでのオーケストラ演奏を聴く。	現在認識している課題					県からのバス利用補助はあるが、バス費用が高騰したため、保護者負担が必要となる。 開園時間調整のため一か所見学地を回っている現状がある。
			今後の方向、見直し、対応策					徐々に市負担から保護者負担に切り替えを図る。			
1 ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成	グローバル化に対応した教育の推進	4 英語教育強化事業	令和2年度の新学期指導要領を見据え、市内小学校の統一した外国語教育の調整と指導力向上を支援する。	・フォニックス指導の実施 ・大学教授による研修会の開催 ・英語教職員、ALT、地域人材等による授業実施 ・小3～4年生：外国語活動を週1コマ実施 ・小5～6年生：教科型の教育課程を週2コマ実施 ・主体的、対話的で深い学びを取り入れた授業の展開 ・中学校2年生が、英語能力の測定のため、GTEC(英語技能測定試験)を受験	1次評価	○				文部科学省より平成26年度から平成29年度の4年間文部科学省の指定をうけ、研究課題に取り組み、平成30年度に先行実施として2年間取り組んだ。 令和2年度からの次期学習指導要領へのスムーズな実施に向けて、継続して取り組むことが必要である。	
		2次評価			○				一次評価のとおり継続する。 市内教職員の共通認識を図り、共通カリキュラムを適切に実践すること。		
		1次評価			○				グローバル社会の中で、英語は必要不可欠なため、幼児期より英語に触れる機会を増やすことは、非常に大切である。すぐに結果が表れるものではないため、早期に事業を実施することが肝要である。また幼児・児童・生徒と切れ目なく事業を継続することで、よりスムーズな英語習得につながる。今後も現状の人数と時数を維持しながら事業を継続する。		
		2次評価			○						1次評価のとおり継続する。
		1次評価			○				中学校生徒に生の英語に触れる機会と、異文化交流による国際理解を推進、生徒の英語能力の向上とグローバル社会に対応する人材の育成を図っており、保護者からも好評を得ている。 今後においても必要な事業であり、継続実施が望まれる。		
		2次評価			○						一次評価のとおり継続する。 令和元年度補助金等評価結果のとおり、事業成果・効果を把握するための指標設定を検討すること。
5 英語指導助手設置事業	国際社会の一員として様々な分野で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。	市が雇用するALT(8名)を招致し、市内の各小・中学校、市立幼・こども園へ派遣する。 ①ALT連絡会の開催(月1回) ②ALT来日・帰国に関する手続き(交代人員分) ③ALT住居等の生活環境整備(随時) ④新規ALTの招致要望(年1回) ⑤生野高等学校魅力化事業実行委員会との事業実施(英語合宿、英語クリスマスイベント)	1次評価	○				グローバル社会の中で、英語は必要不可欠なため、幼児期より英語に触れる機会を増やすことは、非常に大切である。すぐに結果が表れるものではないため、早期に事業を実施することが肝要である。また幼児・児童・生徒と切れ目なく事業を継続することで、よりスムーズな英語習得につながる。今後も現状の人数と時数を維持しながら事業を継続する。			
2次評価			○				1次評価のとおり継続する。				
6 英語教育強化支援事業	国際社会の一員として様々な分野で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。	■アメリカ中学生受入事業 【受入期間・人数】 マウントテーバー中学校 (4月19日～4月29日)生徒40名・引率9名 シャヘイラムパレー中学校 (5月17日～5月22日)生徒15名・引率5名 【内容】 ホームステイ・学校交流・市内見学 ■市内中学生のアメリカ派遣事業として市立中学生から参加者を募り、アメリカオレゴン州に派遣する。 【派遣期間】 令和元年8月1日～8月8日 【派遣人数】 市立中学生26名 引率8名 【派遣先】 アメリカ オレゴン州 <ニューバーグ市・ポートランド市> 【内容】 ①英会話実地研修 ②市立中学生<シャヘイラムパレー校・マウントテーバー校>との交流 ③ホームステイ ④ホストファミリーとの異文化体験 ・各校にて派遣された生徒による報告会を開催し、他の生徒にも成果を還元する。 ・各交流協会発行の広報誌に活動内容を掲載し、会員にも成果を報告する。	1次評価	○			中学校生徒に生の英語に触れる機会と、異文化交流による国際理解を推進、生徒の英語能力の向上とグローバル社会に対応する人材の育成を図っており、保護者からも好評を得ている。 今後においても必要な事業であり、継続実施が望まれる。				
2次評価			○					一次評価のとおり継続する。 令和元年度補助金等評価結果のとおり、事業成果・効果を把握するための指標設定を検討すること。			

# 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

「確かな学力」の育成	7 教職員研修事業	教職員の研修と教育に関する調査研究を行い、教職員の資質向上を図る。	朝来市教育研修所を設置し、教員の資質を向上させるため研修の機会を設けた。市内の教職員全員がそれぞれの課題や担当に応じて研修に努めた。 □教育研修会：講師 兵庫県立教育研修所 主任指導主事 山本義史氏 「新学習指導要領とICTの活用について」 □ミドルリーダー研修会：講師 兵庫教育大学准教授 小倉裕史氏 「教員に求められる資質や職務の遂行について」 （対象：30代・40代指定年齢の小・中学校教員） □指定校研修：東河こども園、竹田こども園、東河小学校、竹田小学校 □指定グループ研修：栗瀬小・中連携算数数学研究会、和田山地区特別支援教育研究会 □職種別・課題別研修：校長部会、学校栄養職員会、養護教諭部会、事務職員部会 □授業のユニバーサルデザイン化事業：中尾繁樹関西国際大学教授を招へいし、市内小・中学校にてアセスメントや授業研究等の研修会を実施。 □環境教育担当者等研修会 講師：ネイチャークラブ体験教育研修所 所長 中岡慎雄氏 「命のつながりを学び育てる環境教育～ESDの観点から～」	1次評価	○	教職員の資質向上や技術習得を図り、教育に生かすために研修事業が必要不可欠である。地公法、教育公務員特別法等で教育公務員の研修の実施に努めることが求められている。これまでの実績を基にこれまで以上に効果的な研修事業を実施していく。
	8 「確かな学力」育成事業	基礎・基本や学習習慣の定着、知識・技能を活用する力や「ことばの力」の向上等、学校への重点的な支援など、さらなる学力向上を目的とする。	・全国学力・学習状況調査結果の分析・検証に基づき、学力向上に向けて、教員OB等の地域人材を活用した放課後の学力向上方策に取り組んだ。 ・市内小・中学校13校のべ17人の指導員を配置。	現在認識している課題		一次評価のとおり継続する。 新しい学習指導要領への対応や英会話能力・ICT技術等の向上のため研修内容を充実させ、教職員の資質向上に努めること。
「豊かな心」の育成	9 学校音楽祭開催事業	児童の感性を磨き、生涯を通して音楽を愛好する心豊かな児童の育成を目指す	・音楽祭開催のための学校担当者との打合せ会を実施 ・打合せ会での決定内容に基づき、各種準備物の用意、児童輸送のためのバス手配等 ・和田山ジューボホールにて、小学校9校の児童参加のもと音楽祭を開催	1次評価	○	音楽に触れ、互いの活動を発表しあうことにより、市内学校の一体感と相互の感性を磨くという目的を果たしており、情操教育推進のため継続実施の必要がある。
	10 子ども子育て支援計画策定事業	○子ども・子育て関連3法(子ども・子育て支援法、認定こども園法一部改正法、整備法)が平成24年8月22日に公布され、すべての子どもの良質な成長環境の保障及び子ども・子育て家庭を社会全体で支援するための新制度が平成27年度からスタートしている。新制度をさらに計画的に推進するため策定を義務付けられている「朝来市子ども・子育て支援事業計画」の見直しをすることにより、今後5年間「質の高い学校教育・保育の一体的な提供」、「保育の量的拡充」、「家庭における養育支援の充実」等、必要な確保方策を推進する。計画の進捗管理と、必要に応じ計画・確保方策の見直しすることにより、朝来市における子育て支援を充実する。	○平成27年度に制定した子ども子育て支援事業計画の進捗管理。 ○現在の計画は平成31年度までの5か年計画のため、次期第2期計画策定に向けたアンケート結果をもとに、適宜子ども子育て会議を開催し、必要とされる子育て支援の量の見込み及び確保方策について検討を行い、第2期子ども子育て支援事業計画を策定する。令和元年度は計4回の子ども・子育て会議を開催。3月議会に計画上げ。	1次評価	○	・計画の進捗管理と、必要に応じ計画・確保方策の見直しを行い、朝来市における子育て支援を充実するため継続とする。
2 「生きる力」を育む教育の推進	11 管外保育所委託事業	○保護者の勤務地が市外にあるなどの理由で、朝来市外の保育施設の利用を希望された場合、当該市町村と広域入所に係る協議を行い、保育ニーズに対応できるよう調整を行う。	○保護者の勤務地が市外にある等の理由により、市外にある保育園等へ広域入所を希望された保護者及び乳幼児に対し支給認定申請及び入所申込を朝来市で行う。 ○希望する広域入所保育園等がある市町村と協議をし、保育施設が利用できるよう調整する。(委託協議) ○委託先が公立施設については、当該市町村が定める公定価格に基づき、給付費を支払う(年度末に支払)。 ○委託先が私立施設については、国が定める公定価格単価表に基づき、地域区分・入所人員・年齢等に応じて、特定教育・保育に要する費用を算定し、保育園には「委託費」、認定こども園には「給付費」として、支払う。 〔当月分を、毎月25日を目途に支払)〕 ○公定価格単価から算出した補助基準額の1/2が国庫負担金、1/4が県費負担金(子どものための教育・保育給付費)として補てんされ、残り1/4については市の負担。【委託先が私立施設の場合のみ】	1次評価	○	・広域入所は年度によって利用者数変動するが、市外の保育施設の利用希望にこたえるため継続とする。
	12 私立保育所・こども園障害児保育支援事業	○集団生活が可能な障害児の受け入れを円滑に推進し、当該障害児の福祉の増進を図る。 ○障害児を受け入れている私立保育園等に対し保育士人件費相当分の補助金を支出し私立保育園等の運営を支援する。	○集団生活が可能な障害児の受け入れをし、かつ加配保育士を配置した私立保育園・こども園に対し補助金を交付するもの。 1 障害児保育の対象児童は特別児童扶養手当受給者。 2 障害児加配保育士一人当たり月額100,000円の補助。 3 対象施設(障害児数=加配保育士数) 照福こども園 2名 配置 ※朝来市保育所等運営補助金交付要綱に基づく	1次評価	○	加配の職員数は支援を必要とする子どもの人数により変動するが、子どもの保育・教育を積極的に実施する民間こども園・保育園の負担軽減のため継続実施する。
				2次評価	○	一次評価のとおり継続する。 各園での支援に対する研修を検討すること。

# 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

幼児期の教育の充実	13	<p>○民間保育園等の安定経営と延長保育等の特別保育事業に積極的に取り組む民間保育園等に対して、保育内容・保育環境の充実を図る。</p> <p>私立保育所・こども園運営改善支援事業</p>	<p>○負担金及び交付金【運営改善事業補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内民間こども園等6施設に補助。</li> <li>1 事務費補助分として、定員数×1,000円×運営月数</li> <li>2 事業費加算分として、朝来市保育所等運営補助金交付要綱の別表に掲げる対象事業のうち、実施事業数×年額100,000円</li> </ul> <p>別表の対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所地域活動事業：6園 (ひまわり、秋田みのり、めばえのいわ、やなせ、あわが、照福)</li> <li>・延長保育促進事業：6園 (ひまわり、秋田みのり、めばえのいわ、やなせ、あわが、照福)</li> <li>・一時預り事業：6園 (ひまわり、秋田みのり、めばえのいわ、やなせ、あわが、照福)</li> <li>・地域子育て支援拠点事業：4園(ひまわり、秋田みのり、やなせ、照福)</li> <li>・障害児保育事業：1園(照福)</li> <li>・病児・病後児保育事業：1園、1施設(秋田みのり、クリニックよしだ)</li> <li>・利用者支援事業：2園(秋田みのり、照福)</li> </ul> <p>3 看護師を配置した場合、看護師配置加算分として、月額65,000円×配置月数 ただし、病児・病後児保育事業を実施の場合は除く。(秋田みのり保育園)</p>	1次評価	○				・民間こども園・保育園の運営の見通しや事業の実施状況、実施計画等の把握に努め、各園の安定経営と保育内容・保育環境の充実を図る為に継続実施する。
	2次評価	○				一次評価のとおり継続する。 各園における運営の見通しや事業の実施状況について把握しながら、適切な支援を行うこと。			
	1次評価	○				・こども園の障害児及び発達障害児等について介助員を配置し、子どもの個別支援の充実や、集団生活への順応を促進するために継続実施する。			
こども園学ひのサポート配置事業	14	<p>○こども園に在籍する特別な支援を有する園児について、介助員を配置し、支援を必要とする園児の発育を促す。</p>	<p>○特別な支援を必要とする園児の保育を実施するための人材の確保</p> <p>○学ひのサポーターが必要なこども園に対し、介助員、パート職員を配置</p>	1次評価	○				
	2次評価	○				一次評価のとおり継続する。 特別な支援に対する理解や知識、資質を高める研修等の実施・充実を図ること。			
放課後児童対策事業	15	<p>○小学校1年生から6年生までの児童を対象に学童クラブを開設し、放課後、就労等で保護者が不在の家庭に対し、子育て支援を行うことにより、保護者が安心して就労及び子育てが出来る環境を整える。</p>	<p>・放課後家庭において保護者の保護が受けられない小学校児童の保育を、小学校区毎の学童クラブにおいて行う。</p> <p>【運営等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：小学校児童(療育が必要な児童は入所制限。)</li> <li>・市内公立学童クラブ9カ所。19人までは支援員2人体制、20人以上は3～4人体制。</li> <li>・公立学童クラブの9カ所については運営委託。※私立照福こども園(H27年度から)、秋田みのり保育園(H30年度から)。</li> <li>・開所時間：授業のある日は、月～金曜日までの平日、下校時から午後6時まで。土曜日・長期休業日(春休み・夏休み・冬休み)は、午前8時～午後6時まで。平日は午後6時30分まで、土曜日・長期休業日は、午前7時30分～午後6時30分まで延長を実施。</li> <li>【指導員】</li> <li>・年3回程度、各学童クラブ代表指導員が集まる会議を実施(各学童クラブ毎で指導員のみ会議も定期的に開催)。</li> <li>・支援員資格取得のため研修参加に係る事務を行っている。今までに「放課後児童支援員認定資格研修」を受講し修了した者は計45名(R1年度9名受講)、「放課後児童支援員の資質向上研修」を受講した者は計21名(R1年度0名)。</li> <li>【施設整備】</li> <li>(R1年度)・山口学童クラブ空調設置</li> </ul>	現在認識している課題				<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童数は年々増加しており、支援員不足となっている。</li> <li>・保護者からの利用料滞納が増加傾向にある。</li> <li>・生野学童クラブの土地使用料が高額となっている。</li> </ul>	
	今後の方向、見通し、対応策等					<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員養成のための対策等検討する。</li> <li>・滞納者については、郵便・電話催告等、適宜対応する。</li> <li>・生野学童クラブ使用料については、土地所有者と協議する必要がある。</li> </ul>			
特別支援教育の充実	16	<p>特別な支援を必要とする児童の就学支援体制の充実を図るため、学ひのサポーターを配置する。</p> <p>小学校学ひのサポーター配置事業</p>	<p>■学ひのサポーターの配置等</p> <p>令和元年度配置人数…20人</p> <p>■実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級や特別支援学級において、支援が必要な児童に対し、担任等と連携し、学習活動が円滑に進むようサポートを行った。</li> <li>・器具を着用している児童やアレルギー対応の児童の身体的安全確保のため、休み時間や給食時の支援を行った。</li> <li>・集団生活に入りにくい児童に対して、担任との連携をとりながら、情緒の安定を図り学校生活が円滑に進めるよう支援を行った。</li> <li>・特別支援教育に係る学校訪問を行い、サポートをしている授業の様子を参観したり、サポーターとの面談を通じて勤務の様子を把握した。</li> <li>・学ひのサポーター研修会を実施し、児童への支援の方法や実態把握について専門性を高める研修を行った。</li> </ul>	1次評価	○			支援を必要とする児童は様々な実態があり、サポーターの支援は大きい。発達障害等の理解や特別支援教育が進む中、支援を要する児童へのサポートも年々増えている。よりきめ細かな支援を行うために事業の継続が必要である。	
	2次評価	○				1次評価のとおり継続実施する。 教職員の特別支援教育に対する理解や知識、資質を高める研修等の実施・充実を図ること。			
中学校学ひのサポーター配置事業	17	<p>特別な支援を必要とする児童の就学支援体制の充実を図るため、学ひのサポーターを配置する。</p> <p>中学校学ひのサポーター配置事業</p>	<p>■学ひのサポーターの配置</p> <p>令和元年度学ひのサポーター配置人数…6人</p> <p>■実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級や特別支援学級において、支援が必要な生徒に対し、教科担任等と連携し、学習活動が円滑に進むようサポートを行った。</li> <li>・特別支援教育に係る学校訪問を行い、サポートをしている授業の様子を参観したり、サポーターとの面談を通じて勤務の様子を把握した。</li> <li>・学ひのサポーター研修会を実施し、生徒への支援の方法や実態把握について専門性を高める研修を行った。</li> </ul>	1次評価	○			近年、支援を必要とする生徒数は増加傾向にあり、様々な実態がありサポーターの支援は大きい。発達障害等の理解や特別支援教育が進む中、よりきめ細かな支援を行うために事業の継続が必要である。	
	2次評価	○				1次評価のとおり継続する。 教職員の特別支援教育に対する理解や知識、資質を高める研修等の実施・充実を図ること。			

# 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	18 コミュニティ・スクール推進事業	子どもたちは地域の宝であるとの認識のもと、子どもに関わる全ての地域住民が一体となって子どもたちを育む一つの形として、コミュニティスクール「学校運営協議会制度」を活用し、学校、保護者そして地域住民がともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくことを目指す。	保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会において、学校運営基本方針の承認や、教育活動などについて意見交換を行うことで保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させる。 広報誌を発行し、地域に向けて情報を積極的に発信する。	現在認識している課題	令和2年度から市内小中学校でコミュニティスクールを導入するが、委員の選出、協議会の内容を調査研究し、地域住民との連携体制強化を図る必要がある。	
		今後の方向、見直し、対応策等	竹田小学校で実施していたコミュニティスクールを市内全域に広げ実施する。				
	小学校整備事業	19 小学校整備事業	市内小学校の施設改修行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市内小学校の改修希望箇所調査</li> <li>■市内小学校の改修箇所の査定、査定結果に基づき工事を発注                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備整備工事設計業務(生野・牧田・東河・竹田・山口小)</li> <li>・山口小 校舎修繕工事</li> <li>・梁瀬小 遊具改修工事、正門改修工事</li> <li>・竹田小 グランド蓋取替工事</li> <li>・生野小 防火設備改修工事</li> <li>・大蔵小 ハックネット改修工事</li> <li>・その他工事</li> </ul> </li> </ul>	現在認識している課題	厳しい財政事情のため、各学校からの改修要望箇所と実施件数に差が生じている。	
		今後の方向、見直し、対応策等	漏水等の突発的なものを除き、改修箇所の査定を行い緊急順位の高いものから実施していく。施設の老朽化も目立つため、計画的に大規模改修等を実施し、施設の長寿命化が必要である。				
	中学校整備事業	20 中学校整備事業	市内中学校の施設改修行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市内中学校の改修希望箇所調査</li> <li>■市内中学校の改修箇所の査定、査定結果に基づき工事を発注                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生野中 教室照明取替</li> <li>・和田山中 鉄棒修繕</li> <li>・梁瀬中 自転車小屋、トイレ修繕</li> <li>・その他修理</li> </ul> </li> </ul>	現在認識している課題	学校施設の耐震補強はすべて終了しているが、老朽化による大規模改修を必要とする学校がある。 修繕必要箇所は年々増加の傾向であるが、厳しい財政事情のため、各学校からの改修要望箇所と実施件数に差が生じている	
		今後の方向、見直し、対応策等	漏水等の突発的なものを除き、改修箇所の査定を行い、緊急順位の高いものから実施していく。施設の老朽化も目立つため、計画的に大規模改修等を実施し、施設の長寿命化が必要である。				
	小学校教育振興事業	21 小学校教育振興事業	小学校が創意工夫し、特色を生かして教育活動を展開するために必要な環境整備を図る。	市立小学校の教材等経費。各学校に必要な経費予算を配当し、必要な教材等を購入する。 ICT環境の整備を行う。 ・理科算数振興備品購入(2校分) ・各校教材備品購入 ・校務用パソコン更新 ・校務支援システムリース(H30.1~R4.12) ・教育用センターサーバーリース(H29.11~R4.10) ・教育用ICT環境整備 ・パソコン教室用パソコン更新 ・教師用タブレット端末の導入 ・児童用タブレット端末の導入(3クラスに1クラス相当分) ・大型提示装置の導入 ・無線LAN環境整備等	1次評価	○	グローバル化及び情報化社会を生きる子どもたちに、ICT機器を活用することで、必要な資質・能力の向上を図ることが継続して必要である。
		2次評価	○	一次評価のとおり継続する。 情報化社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力を高めていくこと。			
	中学校教育振興事業	22 中学校教育振興事業	学校が創意工夫し、特色を生かして教育活動を展開するために必要な環境整備を図る。	市立中学校の教材等経費。各学校に必要な経費予算を配当し、必要な教材等を購入。 ICT環境の整備を実施。 ・理科算数振興備品購入(1校分) ・各校教材備品購入 ・校務用パソコン更新 ・校務支援システムリース(H30.1~R4.12) ・校務用センターサーバーリース(H29.11~R4.10) ・パソコン教室用パソコン更新 ・教師用タブレット端末の導入 ・無線LAN環境整備	1次評価	○	グローバル化及び情報化社会を生きる子どもたちに、ICT機器を活用することで、必要な資質・能力の向上を図ることが継続して必要である。
		2次評価	○	一次評価のとおり継続する。 情報化社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力を高めていくこと。			
梁瀬小学校屋内運動場大規模改修事業	23 梁瀬小学校屋内運動場大規模改修事業	学校施設の計画的な改善により、安全・安心な教育環境を確保する。	梁瀬小学校の屋内運動場は、昭和57年度建築後、36年が経過し老朽化が目立つことから、大規模改修工事を行い、教育環境の向上を図る。 ■スケジュール 平成29年度 建物調査 平成30年度 設計 令和元年度 工事 ■屋内運動場面積 1,305㎡	現在認識している課題	適切な維持管理を継続する。		
	今後の方向、見直し、対応策等	平成29年度で校舎の大規模改修工事は市内全校で実施済みとなるが、屋内運動場等の老朽化が著しく、大規模な改修が必要であるため、順次改修を実施する。					
中川小学校屋内運動場大規模改修事業	24 中川小学校屋内運動場大規模改修事業	学校施設の計画的な改善により、安全・安心な教育環境を確保する。	中川小学校の屋内運動場は、昭和60年度建築後、33年が経過し老朽化が目立つことから、大規模改修工事を行い、教育環境の向上を図る。 ■スケジュール 令和元年度 建物調査 令和2年度 設計 令和3年度 工事 ■屋内運動場面積 997㎡	現在認識している課題	児童の安全管理の充実及び災害時の安全な避難場所として、老朽化した屋内運動場の大規模改修を行う。		
	今後の方向、見直し、対応策等	令和3年度の工事実施に向け、改修箇所について学校と十分協議を行うと共に設計に反映させ、効果的な改修工事が出来るよう準備を行う。					

# 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

生涯を通じた学びの機会・場の充実	25	生涯学習を推進し、市民の生涯学習意欲の向上や地域コミュニティの活性化につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育委員会の開催…1回(但馬:役員会3回、総会1回、研修会1回 県:総会1回、全国(近畿):1回(今年度兵庫県開催))</li> <li>○社会教育に関する年間事業計画や社会教育計画の企画立案における意見交換等</li> <li>○青少年問題協議会の開催…1回</li> <li>○青少年の指導育成、保護及び強制に関する施策について協議団体、機関における取組みについての意見交換</li> <li>○青い鳥学級の開設…6回</li> <li>○体験学習、管外研修、意見交換</li> </ul>	1次評価	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員については、現状の活動の他、コミュニティスクール事業に積極的に関わってもらうようにしていく。</li> <li>・青少年問題協議会が年1回の開催で情報交換のみで終わっているため、関係団体が連携した活動となるよう対応を図っていく。</li> </ul>
	26	生涯学習推進員の配置等により、地域における自主的な生涯学習活動を促進し、学習成果を活かした活力ある地域づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地区における、防犯パトロールをはじめ、生涯学習を推進するための各種事業の開催</li> <li>○パトロール(生野1回、和田山6回、山東3回、朝来3回)</li> <li>○生涯学習推進員全体会(研修会)の開催(1回)</li> <li>○ラジオ体操の普及(ラジオ体操講習会1回、巡回ラジオ体操会3回、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会1回)</li> <li>○生涯学習講演会の開催(1回)</li> <li>○生涯学習推進員活動広報発行(1回)</li> </ul>	現在認識している課題				<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区に1名の生涯学習推進員を設置しているが、区の高齢化や人口減少により、1名を選出しにくい地区が生じてきている。</li> <li>・地域自治協議会との連携強化を図り、市民の自主的な生涯学習活動を推進していく必要がある。</li> </ul>	
	27	同和事業を重要な柱とした人権教育を図るため、地域・学校・家庭・行政が連携した学級を開設(教育委員会の権限に属する事務の補助執行)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生を対象とした、あすなろ学級(小学生対象)・希望学級(中学生対象)の開設(あすなろ学級26回、希望学級12回)</li> </ul>	1次評価	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・学校・市が連携し、同和学習がしやすい体制のもと、児童・生徒への学習は絶え間なく行うことで、より強い心を持ち適切に行動できるようになるため継続する。</li> </ul>	
	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新成人の門出を祝う</li> <li>○「ふるさと朝来市」の良さを再認識する機会を作る。</li> <li>○若者のリーダーを養成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新成人(平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの者)の有志による実行委員会の開催 4回</li> <li>○実行委員10名(成人のつどいの企画・運営について検討)</li> <li>○令和2年1月12日成人式の開催(新成人参加 274名)</li> <li>○記念式典</li> <li>○オープニング(朝来市コーラス連盟、朝来市少年少女オーケストラ)</li> <li>○式辞、祝辞、謝辞</li> <li>○成人のつどい</li> <li>○お笑いライブ、新成人企画「朝来市ダーツの旅」</li> <li>○記念撮影</li> </ul>	1次評価	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人の社会参加への自覚を高めるとともに、「ふるさと朝来市」を再認識する人材育成の場として継続実施していく。成人のつどいの実行委員の募集方法や企画内容等については検討が必要であり、実行委員会と協議しながら、新成人と同年代の各界(スポーツ等)で活躍する市出身者の講演会等を検討していく。</li> </ul>	
29	少年少女オーケストラ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラシック音楽に触れる機会を提供することで、子どもたちの好奇心や夢を育み、青少年の健全育成を図る</li> <li>○市民にとって身近な音楽文化として、クラシック音楽の普及振興を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期練習(毎週)</li> <li>・火曜日(18:30～20:00)、土曜日(15:00～17:00)</li> <li>○強化練習</li> <li>・夏季(8月3日・4日)、春季強化はコロナ感染症拡大防止のため中止</li> <li>○演奏活動</li> <li>・定期演奏会(11月19日)</li> <li>・成人式オープニング(1月12日)</li> <li>・入団式、歓迎演奏会(2月15日)</li> <li>・サマーコンサート(8月4日生野メインホール・6日さんとう緑風ホール)</li> <li>・「日本PTA全国研究大会、兵庫大会」アトラクション(8月23日)</li> </ul>	現在認識している課題				<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏水準を維持向上させるための団員数の一定数以上の確保</li> <li>・週2回の定期練習を中心として指導に当たってもらえる教職員の人員確保</li> </ul>	
				今後の方向、見通し、対応策等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成事業として重要な役割を担っており、市独自の人材育成の取り組みを継続実施する。</li> <li>・青少年の新しい教育の場としての活動の推進を図る。</li> <li>・広く音楽文化を振興させるため、ジュビターホール以外での演奏会の開催を検討する。</li> <li>・創立30周年定期講演会の成功に向け団員の技術の向上と市内の音楽活動の活性化をめざす。</li> </ul>	
30	図書館運営管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民に広く資料や情報を提供する。</li> <li>○図書館資料を適切に整備する。</li> <li>○快適で利用しやすい図書館環境を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の収集、保存(蔵書冊数:227,470冊、年間受入冊数4,953冊)</li> <li>○資料の貸出(個人:161,877冊、団体:7,928冊)</li> <li>○レファレンスサービス(1,278件)</li> <li>○館内、館外のおはなし会の実施(館内:204回、1,608人、館外:113回、4,954人)</li> <li>○ブックリスト配布等による読書案内(年3回 幼児～中学生)</li> <li>○ブックスタート[出前授業](12回、350人)</li> <li>○ブックスタート[8か月児とその保護者対象](158人)※3月未実施</li> <li>○各種行事の開催(としよかんまつり、工作会、イベントおはなし会、読書ボランティア研修会等)</li> <li>○図書館システム変更対応[改元対応、広域利用]</li> <li>○AEDの設置(あさご)</li> <li>○施設の維持管理</li> </ul>	1次評価	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録者及び継続利用者の利用促進のための図書館の利用啓発、また新たに広域連携(福知山市・丹波市等)などを図りながら、生涯学習の重要な拠点として継続し、さらなる利用促進を図る。</li> </ul>	
				2次評価	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおり継続する。</li> </ul>	

# 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

4 すべての市民が学ぶ生涯学習社会の形成

郷土の歴史文化遺産の保存・活用、継承	31	歴史文化遺産は、地域の歴史と先人たちの営みや思いを現在に伝え、住民の誇りや愛着心を高めるものである。市内の貴重な史跡、建造物、近代化遺産、天然記念物、民俗芸能など様々な歴史文化遺産を把握、調査研究を行い、その価値付けと適切な保護を実施するとともに、指定・登録を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の開催(7月、3月に開催。新たに市指定文化財を選定する。)</li> <li>・文化財保護に関する協議会を通じての研修、保護活動の推進、事務</li> <li>・赤淵神社防災保守点検事業に対する補助</li> </ul> </li> <li>○神戸大学地域連携事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に所在する古文書の調査研究及び整理を、神戸大学との共同研究により実施</li> <li>・奥銀谷地域で確認された古文書の調査・整理について、神戸大学の指導を受けながら地域住民らとともに実施</li> <li>・研究成果として、展示会を開催</li> </ul> </li> <li>○市指定文化財説明看板設置・修理事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規看板の設置、老朽している看板等の修理、更新</li> </ul> </li> </ul>	1次評価	○	朝来市は、歴史文化基本構想の策定、日本遺産認定など、歴史文化遺産を活かした地域活性化、地方創生を推進している。地域住民の関心も高まっており、補助金を活用した看板設置やパンフレット作成など、積極的に地域の文化財を啓発しようと努めている。今後も、それらの活動をしっかりと支援していくことは重要である。また、神戸大学と連携しながら、地域で大切に守られてきた歴史文化遺産の調査研究と価値付けを行い、次世代への継承を適切に行っていく必要がある。
	32	朝来市は、多くの天然記念物が豊富に生息する環境であり、特に特別天然記念物オオサンショウウオは非常に多く生息している。それらを適切に保護し、住民の誇りや醸成と地域活性化に寄与する活用方法を検討、実施することで、市内外に向けて天然記念物をはじめとする朝来市の文化財の価値を上げていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天然記念物の保護業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国特別天然記念物オオサンショウウオの市内河川での生息調査を実施した。</li> <li>・日本ハンザキ研究所周辺のオオサンショウウオ保護啓発にかかる構想の検討を行った。</li> </ul> </li> </ul>	現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本オオサンショウウオの会朝来大会の開催をひかえ、地域住民や民間企業等との連携、情報共有をさらに強化していく必要がある。</li> <li>・ハンザキ研究所として活用している旧黒川小中学校の老朽化が著しい。</li> </ul>	
郷土の歴史文化遺産の保存・活用、継承	33	朝来市を代表する史跡竹田城跡を次世代に継承し、地域の誇りとして活用していくため、城跡に関する学習や普及啓発、周知活動などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○竹田城跡ヘリテージ講座                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田城跡のスペシャリストを養成するため、市民参加型のヘリテージ講座を開催した。</li> </ul> </li> <li>○竹田城跡親子見学会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市の将来を担う子ども達とその保護者を対象とした、竹田城跡の見学会を開催した。</li> </ul> </li> <li>○竹田城跡環境美化委託業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田城跡城内の草刈り・石垣の除草等の清掃作業を行った。</li> </ul> </li> <li>○竹田城跡樹木等管理業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木等の適正な管理を委託して実施した。</li> </ul> </li> </ul>	1次評価	○	歴史文化遺産である竹田城跡を後世に引き継ぐための取り組みは、継続して行なわれるべきものである。市民が歴史文化遺産の価値を再認識し、ふるさとに対する誇りや愛着心を高めるためには、現在のような取り組みを継続することで着実に人材を育てることが必要である。また、今後は日本遺産などの取り組みなどと連携や、歴史文化遺産の積極的な活用を通して、地域の魅力発信を行うことが必要であると考えられる。
	34	○青少年の健全育成や市民の自主的な生涯学習活動の促進を図る。	社会教育団体(青少年スポーツ・文化活動団体、文化協会、子ども会連絡協議会)への活動補助金の交付。	現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体(青少年)について、団体数は例年と変わらないが、チーム内の人数が毎年減ってきており、活動が危ぶまれているところもある。</li> <li>・子ども会については、子どもの減少により、地区子ども会だけでは活動が出来ないところも出てきている。</li> <li>・文化協会については、加盟団体の高齢化が進み、団体内の人数が減ってきている。</li> </ul>	
スポーツの振興	35	朝来市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21朝来市推進委員会を核として、市民が気軽にスポーツに親しめるための環境づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝来市スポーツ推進審議会の開催(4回)</li> <li>○朝来市スポーツ推進計画の見直し(期間:令和2年度~令和6年度)</li> <li>○朝来市スポーツ推進委員会の活動として、主管事業及び研修会を開催</li> <li>○スポーツクラブ21朝来市推進委員会の開催(2回)</li> <li>○スポーツクラブ21ひょうご強化事業の実施(スポーツ用具配布 100万円/1クラブ)</li> <li>○ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業の実施(2クラブが申請)</li> </ul>	1次評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員は法に基づく委員であり、継続した取り組みが必要である。</li> <li>・スポーツクラブ21は自主運営組織であるため継続していくが、各団体での活動に差がある中で、今後は、統合・廃止にむけて各クラブと相談・検討を行っていく。</li> </ul>
	36	スポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくり、競技力の向上を図る	朝来市体育協会・朝来市陸上競技協会への活動補助金の交付	現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員の減少、高齢化している加盟団体が見られ、今後も継続するようであれば活動の縮小も考えられる。</li> <li>・各団体での活動は活発であるが、他スポーツ団体との連携が不足している。</li> </ul>	
スポーツの振興				2次評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおり継続する。</li> <li>・人材育成のための講座や見学会に関しては、より多様な人材に参加してもらえよう、内容を工夫すること。</li> <li>・別事業「文化財保存活用事業(竹田城跡保存整備事業)」ではあるが、保存整備については適宜国・県要望を行いながら進めること。</li> </ul>
				今後の方向、見通し、対応策等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおり継続する。</li> <li>・地域文化財について、啓発活動に努めること。</li> </ul>
				今後の方向、見通し、対応策等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会を成功させるとともに、大会を機に、オオサンショウウオの棲む町として、朝来市をPRしていく。そのためには、環境保護指針の策定や、オオサンショウウオを調査研究、展示できる施設の確保などが求められる。</li> </ul>
				2次評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおり継続する。</li> <li>・人材育成のための講座や見学会に関しては、より多様な人材に参加してもらえよう、内容を工夫すること。</li> <li>・別事業「文化財保存活用事業(竹田城跡保存整備事業)」ではあるが、保存整備については適宜国・県要望を行いながら進めること。</li> </ul>
				今後の方向、見通し、対応策等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年スポーツ・文化活動補助金については、団体は固定されているが、着実に上位大会へ出場しており、成果を上げている。青少年健全育成を図るため、今後も適切な支援に努めていく。</li> <li>・子ども会連絡協議会が、唯一の市内の子ども会組織を連携する役割を担っており、継続して支援をしていく。</li> </ul>
				2次評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次評価のとおり継続する。</li> <li>・スポーツクラブ21については、統合・廃止に向けて各クラブと相談・検討を行うこと。</li> </ul>
				今後の方向、見通し、対応策等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市スポーツ推進委員会・スポーツクラブ21等の団体とも連携を密にし、競技スポーツ者として実技指導、助言できるような組織となるよう支援していく。</li> </ul>

## 令和元年度朝来市教育委員会事務事業評価書

37 社会体育事業(全市)	○スポーツを通じた健康増進と市民の交流を図る。	○市民ソフトボール決勝大会 ○市民壮年・女子ソフトボール大会(延期→中止) ○市長杯バレーボール大会 ○2019あさご市スポレク大会 ○軟式野球大会 ○市民ソフトボール交流大会(雨天中止) ○スキー・スノーボード教室(雪不足の為、中止)	現在認識している課題				数年前から同じ種目の大会を続けてきており、見直しが必要。 競技系のスポーツ大会は体育協会が行っている。
			今後の方向、見通し、対応策等				スポーツ関係団体、市民の意見も聞きながら、実施事業について精査していく。 気軽に参加できる実技講習や教室も事業に盛り込んでいく。
38 温水プール運営管理事業	○市民の健康増進と心豊かな生活の醸成を育むため、市営温水プールを設置し、適正な運営管理を行う。	○「くじら」の管理運営を指定管理者(シンコースポーツ株式会社兵庫支店)に委託 ○指定管理者との定期的な連絡会の実施 ○施設の維持に関する修繕等を実施	1次評価				
			2次評価				
39 体育施設整備事業	○市民のスポーツ振興と健康増進のための環境整備 ○利用者が安心して利用できる施設の整備	○生野中学校テニスコート照明LED化工事 ○和田山中学校グラウンド照明工事 ○朝来グラウンドフェンス改修工事 ○スポーツ公園グラウンドフェンス修繕工事	1次評価				
			2次評価				